

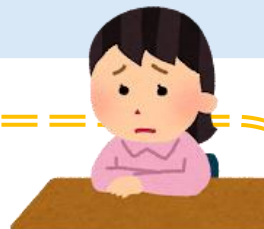
インターン生の つながる通信



～大学生が考える 30年後の未来～

私たちは、30年後の自治体のビジョンを考える未来自治体(政策コンテスト)に参加しました。そして、大学生の私たちが考える「現在の学校教育における課題」を改善するために、**30年後の豊中市**で行いたい3つの**政策**を提案しました。

〈小中学校時代を振り返って〉



暗記学習ばかりで、テスト後に結局知識を忘れてしまう…“**学力偏重**”

先生はいつも忙しそうでゆっくり話せない…“**教師の事務負担**”

同学年とは接するけど、**他学年と交流**する機会がない…“**狭い交流**”

理想の学校とは？

「**学力**」と「**人間力**」の
両方を身に付けられる場所



政策① AIシステムの開発

AIが先生の**負担を軽減**し、生徒に対し**効率的で深い学び**を提供する

- ・先生：授業や生活指導の充実により、生徒の**非認知能力**を養う
- ・AI：**事務作業**(問題作成や丸付け、成績評価など)を行う



AIができない**双方向のコミュニケーション**で
より**人間力を磨く教育**を！！

政策② 異学年交流の促進

義務教育学校を活用し、**異学年間**での交流を実現する

- ・ 異学年班による縦割り活動： 運動会等の行事に加え、
授業として異学年交流の時間を導入
- ・ スクールバディの導入： 下級生と上級生でバディ



日常的な異学年での交流が可能になり
交友関係も拡大！！

政策③ 主体的な学びがある地域活動

自ら考え、より積極的に**地域の方と交流**できる機会を増やす

- ・ 新クリーン作戦： 清掃活動×課題解決型学習
- ・ 新ふるさとクラブ： 生徒自身が地域の方と行う活動内容を提案



自ら考えて活動することで
主体的な地域交流に！！

本来学校で達成すべき目的(知識、思考力、人間性の育成)を

最大限に達成できる社会を目指しましょう!!!



インターンを終えて



約 2 か月という決して長くはない期間でしたが、設定した目標を達成するために何ができるのか、日々考えながら活動しました。政策コンテストの取り組みはもちろん、朝の駅頭活動や市役所での活動など、本来ならば関わることのなかったはずの機会を数多く経験させていただき、大変充実した時間を過ごすことができました。インターン先で出会った方々をきっかけとしてできたご縁や新たな価値観を大切に、新年度を迎えたいと思います。大変お世話になりました。

伴野見宇

2 か月という期間は、初めは長いように感じましたが、実際に経験してみるとあっという間に過ぎました。街頭活動などはこれまで市民として議員の活動を街中で見ていましたが、具体的な仕事内容は全く知りませんでした。今回その活動を間近に見て、議員の皆さんが日々行っていることを肌で感じることができました。また自分も直接参加することで、その一翼を担えたことは非常に貴重な経験と思い出になると思います。ありがとうございました。

東里穂